豊かな心と文化を育むまち【教育、文化】

5

子どもたちの生きる力を育むため、特色ある教育を推進するとともに、学校・家庭・地域が連携した取組を推進します。

また、本市の歴史と地域文化などを通じ、各世代に応じた活動や人材の育成を促進し、文化の薫り高いまちの実現を目指します。

基本理念を踏まえた取組方針

施　策

5-1　学校教育の充実
5-2　青少年の健全育成
5-3　生涯学習の充実
5-4　地域文化の振興

5-1 学校教育の充実

現況と課題

時代の変化に対応するため、学校教育において、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた「生きる力」を育むことが求められています。

本市では、学校・家庭・地域が連携を図りながら、地域の特色・文化をいかした活動を通して、児童生徒の健全育成に取り組んでいます。

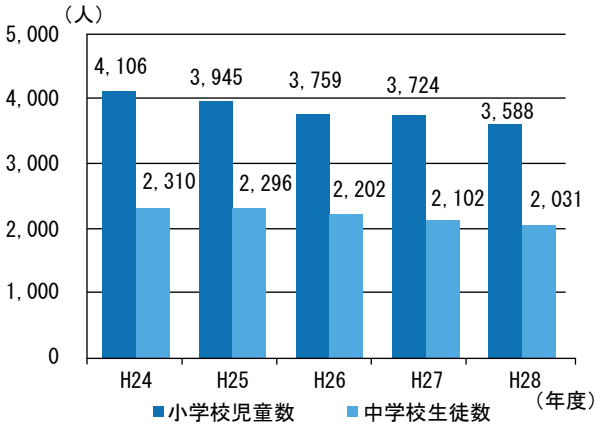
また、教職員の指導力を向上させる研修や各学校の状況に応じた非常勤講師等の配置を実施し、児童生徒にきめ細かな指導を行っています。

今後も、学校・家庭・地域の連携を図るとともに、児童生徒の実態に応じた指導を行うことで、基礎的・基本的な知識・技能の習得とともに、主体的に学び、考えを広げ深め、感性を豊かに働かせ、健康を保持増進する児童生徒を育成する必要があります。

学校教育施設については、児童生徒の安全確保を目的に全ての小中学校の校舎等の耐震化が完了しました。今後も、学校施設の老朽化や小中学校再編統合などを踏まえて、教育環境の整備をより推進する必要があります。

安全で安心な学校給食を提供するため、南部学校給食共同調理場、北部学校給食共同調理場を整備しました。今後も、老朽化した給食調理施設の整備等や各調理場の効率的な管理・運営を推進する必要があります。

○小学校児童数と中学校生徒数の推移



資料：学校基本調査（平成 28 年度）

地場産物を活用した学校給食

市民意見（■：市民ワークショップ意見、◆：懇談会意見）

◆ 学校の再編については、地域の実情を把握した上で取り組んでほしい。
◆ 小学校からの食育推進など、教育分野を重視した予算を組んでほしい。

意識調査（■：市民意識調査、◆：中学生・高校生意識調査）

市長になったとしたら力を入れたいこと

■ 市独自の方法により効果的に行える少人数指導やクラスの定員の工夫など、小中学校の教育に力を入れたい。
◆ 今の子どもたちの中にあるいじめなどをなくせるように、学校へ訪問し話をしたい。

基本方針

子どもたち一人ひとりに、「生きる力」を育むとともに、学校・家庭・地域の連携を強化し、信頼され魅力ある学校づくりを推進します。

取組内容

（1）学校・家庭・地域の連携強化

学校・家庭・地域が連携し、児童生徒の主体性に着目した活動や地域の特色・文化をいかした活動を推進します。

（2）教育指導体制の充実

児童生徒の実態に応じたきめ細かな指導を行い、主体的に学び、他者への思いやりの心を育み、運動好きで健康な児童生徒を育成します。

また、教職員の職能に応じた研修等を実施し、指導力の向上を図ります。

（3）教育環境の整備

児童生徒の安全で快適な学習環境を確保するため、学校施設の老朽化や小中学校再編統合の推進状況を踏まえながら、施設の整備・充実を図ります。

また、教職員の指導力向上や多様化する教育ニーズに対応するため、教職員研修や適応指導教室※1のための施設の充実を図ります。

（4）学校給食の充実

老朽化した給食調理施設の整備等を行うとともに、各調理場の効率的な管理・運営の合理化を推進します。

食の正しい知識と食習慣を身に付けるため、食育の充実を図るとともに、より一層の地場産物の活用を推進します。

指標

項　　目	現状値（平成 28 年度）	目標値（平成 34 年度）
学習内容が分かると答える児童生徒の割合	77.1%	81.0%
小中学校施設のトイレの洋式化率	41.0%	60.0%

主要事業

○学校・家庭・地域・三者連携推進事業
○小中学校施設管理事業
○きめ細かな指導充実事業
○学校給食共同調理場（7大アレルゲン対応）整備事業

関連する計画・指針等

□渋川市子ども・子育て支援事業計画

※1　適応指導教室…児童生徒の不登校を改善するために、市町村の教育委員会が学校とは別の場所に設置している教室のことです。

5-2 青少年の健全育成

現況と課題

いつの時代においても青少年の健やかな成長が求められています。しかし、青少年を取り巻く環境は、児童虐待やいじめ、不登校などの従来からの問題に加え、近年はインターネットなどの情報通信技術の進展による問題など、より多様化・複雑化しています。

本市では、青少年の育成に関わる団体等と連携し、補導・相談活動や青少年健全育成キャンペーンなど、青少年の健全育成・非行防止に取り組んでいます。

また、子ども会育成会やＰＴＡなどの活動を支援するとともに、青少年の体験学習教室や放課後子ども教室、高校生との連携推進など、学校・家庭・地域の連携の強化に取り組んでいます。

今後も、学校・家庭・地域が互いに連携し、時代の変化に応じた取組を実施するとともに、地域ぐるみで子どもたちの健やかな成長を見守る体制づくりを進める必要があります。

青少年健全育成キャンペーン

放課後子ども教室「日本舞踊教室」

意識調査（■：市民意識調査、◆：中学生・高校生意識調査）

市長になったとしたら力を入れたいこと

■ 教育を充実させ、青少年の育成に力を入れたい。

基本方針

次世代を担う青少年を健全に育成するため、青少年センターを充実するとともに、学校・家庭・地域がきめ細かな連携を図り、健全育成に向けた様々な取組を積極的に推進します。

取組内容

（1）青少年センターの充実

各地域団体などとの連携を深め、青少年を取り巻く社会環境の変化に対応できるよう、青少年センターの充実を図ります。

（2）学校・家庭・地域の連携

学校・家庭・地域がきめ細かな連携を行い、放課後子ども教室など青少年健全育成のための各種事業の充実を図ります。

（3）関係団体との連携強化と活動の充実

青少年育成推進員などと連携して、地域に根ざした体験活動やボランティア活動の充実を図り、青少年が積極的に参加できる環境整備を推進します。

また、青少年が抱える多様化した悩みや問題に適切に援助、指導できる体制の整備を推進します。

指標

項　　目	現状値（平成 28 年度）	目標値（平成 34 年度）
放課後子ども教室の実施小学校数	1 校	7 校
青少年 1 人当たりの体験学習参加回数	1.21 回	1.50 回

主要事業

○青少年センター事業
○市内高校生連携事業
○青少年育成推進事業

5-3 生涯学習の充実

現況と課題

国際化や情報化などにより価値観の多様化が進む中、市民の学習ニーズを尊重し、各世代に応じた学習内容の提供が求められています。

このような中、本市では、市民一人ひとりが、生涯にわたり主体的に学習することができ、その成果をいかすことができる社会を実現するため、公民館や図書館などの社会教育施設において、生涯学習情報や学習機会を提供しています。

今後も、多様化する市民の学習ニーズを把握し、生涯学習情報や学習機会を充実させるとともに、地域づくりを支える人づくりを進める必要があります。

また、安心して快適に学べる場を提供するため、社会教育施設の計画的な整備や資料等の充実を推進する必要があります。

図書館「おはなし会」

出前講座「応急手当普及講座」

市民意見（■：市民ワークショップ意見、◆：懇談会意見）

■ 発表会など、生涯学習の場を充実させてほしい。
◆ 公民館の整備をしてほしい。

意識調査（■：市民意識調査、◆：中学生・高校生意識調査）

市長になったとしたら力を入れたいこと

■ 文化的な面で「一市民一趣味」のような働きかけをしたい。
■ 現在ある公民館活動を、更に様々な人が利用しやすい形にしたい。

基本方針

生涯にわたり主体的に学習し、生きがいのある充実した生活が送れるよう、生涯学習環境の充実を推進します。
また、地域づくりのための人づくりを推進し、地域主体の生涯学習の推進を支援します。

取組内容

（1）生涯学習活動の推進

市民の学習ニーズに対応した生涯学習情報や学習機会を提供するとともに、学習成果を発表する機会を拡充します。

また、専門的な知識などを有する地域人材の活用、学習者と地域人材とを結びつける生涯学習推進指導者の育成を図り、地域における生涯学習体制を支援します。

（2）社会教育環境の整備

市民が安心して快適に学べる場を提供するため、社会教育施設の計画的な修繕や整備を実施します。

図書館では図書資料を計画的に購入するとともに、市民の利用拡大のための各種事業を実施します。

指標

項　　目	現状値（平成 28 年度）	目標値（平成 34 年度）
公民館利用者数	272,000 人	304,000 人
生涯学習推進指導者養成講座の延べ修了者数	22 人	52 人
1 人当たり図書館資料利用点数	4.42 点	4.52 点
出前講座参加者数	2,915 人	3,280 人

主要事業

○生涯学習推進指導者養成講座
○図書資料購入事業
○公民館施設等改修事業

関連する計画・指針等

□渋川市生涯学習推進計画
□渋川市子ども読書活動推進計画

5-4 地域文化の振興

現況と課題

長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた有形･無形の文化財は、郷土の歴史、伝統、文化などを理解するために欠くことができないものであると同時に、文化の薫り高いまちづくりを進めるための基礎となるものです。

本市には、国指定史跡の黒井峯遺跡や全国的に注目される金井遺跡群、国指定重要有形民俗文化財の上三原田の歌舞伎舞台など数多くの文化財があります。地域においては、獅子舞や神楽、祭り囃子など地域の伝統芸能継承団体や歌舞伎伝承団体による伝統文化活動が行われています。

こうした貴重な財産を次世代に継承するため、重要史跡の保護や伝統文化の継承を推進するとともに、市民が文化財を身近に感じるための取組を充実する必要があります。

また、芸術に関する理解を深め、文化意識の高揚を図るため、市美術館・桑原巨守彫刻美術館や徳冨蘆花記念文学館の優れた作品の鑑賞機会を提供するとともに、市民総合文化祭など市民が主体的に参加できる機会の充実を図っています。

今後も、優れた知識や技術を有する市民などと連携し、芸術・文化の振興を図る必要があります。

さらに、地域で活動する芸術・文化などの自主活動団体の育成や文化活動を支援し、活動成果を地域に還元できる機会を充実する必要があります。

渋川子ども歌舞伎

金井東裏遺跡「甲（よろい）を着た古墳人」

市民意見（■：市民ワークショップ意見、◆：懇談会意見）

◆ 市美術館について、伊香保温泉などの観光資源と連携して来館者の増加を図り、有効利用してほしい。

意識調査（■：市民意識調査、◆：中学生・高校生意識調査）

市長になったとしたら力を入れたいこと

◆ 地域の祭りなどを増やし、市民との交流が盛んなまちづくりをしたい。

基本方針

文化財の保護と活用を図るとともに、地域に伝わる伝統文化の継承を推進します。
また、芸術・文化に触れる機会を増やし、地域の優れた知識や技術を有する市民などと連携を図りながら、文化の薫り高いまちづくりを目指します。

取組内容

（1）文化財の保護・活用と伝統文化の継承

文化財を身近に感じ、貴重な資源であることを周知するため、文化財や重要史跡の計画的な保護、活用を推進します。

さらに、先人から受け継いだ伝統文化を継承するため、伝統芸能継承団体や歌舞伎伝承団体に対し、活動や後継者育成の支援を行います。

（2）芸術・文化活動の推進

芸術・文化面で優れた活動をしている市民などが活躍できる機会を提供するとともに、担い手の育成を推進します。

また、美術館や文学館、市民会館など芸術・文化施設の展示・企画内容の充実や適正な維持管理を図ります。

（3）自主活動団体の育成支援

地域で活動する芸術・文化などの自主活動団体の育成や活動を支援します。

また、文化芸術団体が知識や技術を地域に還元できる機会を充実させるため、各団体との連携を推進します。

指標

項　　目	現状値（平成 28 年度）	目標値（平成 34 年度）
文化財関連施設入場者数	31,237 人	38,000 人
美術館入場者数	12,297 人	15,000 人
文学館入場者数	5,532 人	8,000 人
市民会館入場者数	81,663 人	100,000 人
市民総合文化祭の参加団体数	168 団体	174 団体

主要事業

○文化財管理事業
○子ども歌舞伎教室事業
○市民総合文化祭実施事業
○文化協会支援事業

関連する計画・指針等

□渋川市文化財保存整備・活用総合計画